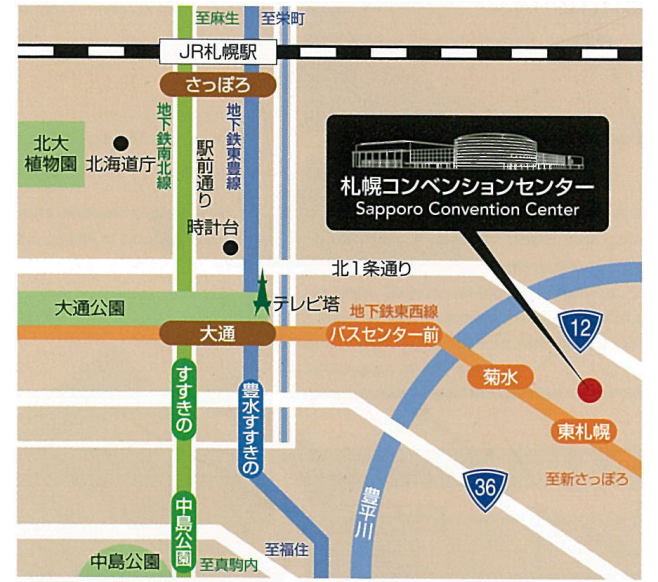


第11回北海道胃瘻研究会

日時：平成25年11月16日(土) 13:00~17:30 (12:00受付開始)
場所：札幌コンベンションセンター 大ホール (地下鉄東西線「東札幌駅」下車 徒歩10分)
参加費：医師 3,000円 / コメディカル 1,000円



プログラム

【情報提供】 「経腸栄養の最近の話題」 大塚製薬工場

【開会の辞】 北海道胃瘻研究会 代表世話人 倉 敏郎 (町立長沼病院)

【一般演題】

【セッション1】 13:15~13:50

座長：小田 寿 (釧路労災病院)

- | | | |
|--|----------------|----------|
| 1. 胃瘻における消化器内視鏡技師の役割を考える | 士別市立病院 内視鏡センター | 佐藤 貴幸 ほか |
| 2. PEG および経腸栄養管理における造影検査の重要性 | 中島病院 NST | 星 智和 ほか |
| 3. PEG 前検査としての内視鏡後 3D-CT | 札幌しらかば台病院 内科 | 菊地 剛史 ほか |
| 4. 新たなPEG 造設キット「KC イントロデューサーキット」の使用経験
~イントロデューサー法の進化~ | 町立長沼病院 内科消化器科 | 倉 敏郎 ほか |

【セッション2】 13:50~14:30

座長：鈴木 進 (留萌セントラルクリニック)

- | | | |
|--|---------------|----------|
| 5. 経皮内視鏡的胃瘻造設術後に胃気腫症を合併した1症例 | 旭川医療センター 総合内科 | 横浜 吏郎 ほか |
| 6. 胃瘻を介した治療が有効であった上腸間膜動脈症候群合併
・筋萎縮性側索硬化症の1例 | 札幌医科大学 第1外科 | 信岡 隆幸 ほか |
| 7. 経胃瘻的外胆道消化管ドレナージ術を行った肝門部胆管癌の1例 | 帯広厚生病院 消化器科 | 松本 隆祐 ほか |
| 8. バルーンタイプの留置カテーテルを用いたPTEGによる
麻痺性腸閉塞の管理 | 清水赤十字病院 内科 | 藤城 貴教 ほか |

(休憩) 14:30~14:50

【セッション3】 14:50~15:35

座長：日下部俊朗 (東札幌病院)

- | | | |
|----------------------------------|------------------|----------|
| 9. L-イソロイシン配合濃厚流動食を長期継続的に投与した一症例 | 栗山赤十字病院 医療技術部栄養課 | 真井 睦子 ほか |
| 10. 当院における経腸栄養ポンプの使用状況とその効果 | 札幌東徳洲会病院 NST | 内山 絵里 ほか |
| 11. 当院の胃瘻離脱症例の検証 | 函館五稜郭病院 NST | 目黒 英二 ほか |
| 12. 胃瘻患者に対する簡易懸濁法を用いた投薬 ~10年の歩み~ | 札幌しらかば台病院 薬剤科 | 小日向真澄 ほか |
| 13. クエン酸法によるPEGの清潔管理 | 常呂厚生病院 | 千石 晃 ほか |

【セッション4】 15:35~16:10

座長：真井 睦子 (栗山赤十字病院)

- | | | |
|--|------------|----------|
| 14. ビフィズス菌投与による効果の検討 | 愛全病院 栄養科 | 佐藤亜衣子 ほか |
| 15. 半固形化栄養へ変更後の、栄養評価及び微量元素の推移 | 洞爺温泉病院 内科 | 三上 淳一 ほか |
| 16. ミキサー食投与におけるペグアシスタの有用性 | 札幌清田病院 看護課 | 田熊 裕美 ほか |
| 17. 当院における栄養療法に関する現状調査
~経管栄養ならびに各種栄養摂取法の状況について~ | 真栄病院 内科 | 津田 守弘 ほか |

(休憩) 16:10~16:30

【特別講演】 16:30~17:30

司会：柳澤 秀之 (帯広厚生病院)

「サルコペニアの嚥下障害とリハビリテーション栄養」

横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科 若林 秀隆 先生

【閉会の辞】 第11回北海道胃瘻研究会 当番世話人 柳澤 秀之 (帯広厚生病院)

共催：北海道胃瘻研究会 株式会社大塚製薬工場 イーエヌ大塚製薬株式会社

後援：北海道医師会 札幌市医師会 北海道看護協会 北海道栄養士会 北海道栄養士会医療栄養士協議会 北海道総合在宅ケア事業団
北海道消化器内視鏡技師会

*本講演会は北海道医師会の承認を得て、北海道医師会認定生涯教育講座(4単位)として開催致します。

カリキュラムコード:4.医療倫理、10.チーム医療、13.地域医療、15.臨床問題解決のプロセス、22.体重減少・るい瘦、49.嚥下困難、78.脳血管障害後遺症、80.在宅医療

*本講演会は日本静脈経腸栄養学会認定資格 栄養サポートチーム専門療法士認定講座(5単位)として開催致します。